

生物多様性に対する取り組み

基本的な考え方

地球環境では多種多様な生物が関わりあいながら存在しています。東京エレクトロングループの事業活動は、生物多様性をもたらす恩恵がなければ維持することはできず、また事業活動を行うことは生物多様性に少なからず影響を与えています。この認識に基づき、取り組みの推進体制を整備し、生物多様性の保全に努めていきます。

● 2012年度の活動内容

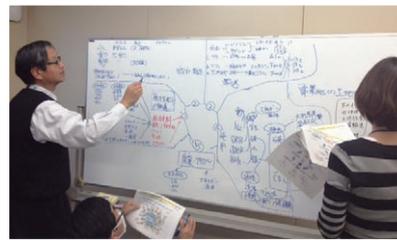
2012年10月から当社グループ内で勉強会を重ね、理解を深めました。初回の勉強会では専門家の指導のもと、府中事業所周辺の生態系観察会を行い、身近な自然に触れることで、生物多様性保全について学びました。また、当社グループの2事業所において、製品のライフサイクルアセスメントを基に事業活動と生物多様性の関係性マップを作成し、自社製品と生物多様性との関係を洗い出しました。さらに、製品のライフサイクルにおける生物多様性への影響と依存の把握を行うことにより、当社グループの考え方を整理し、活動ガイドラインのドラフトを作成しました。2013年2月末には、一般社団法人コンサベーション・

インターナショナル・ジャパンの日比保史代表理事と、金沢大学准教授の香坂玲先生との意見交換会を行い、ガイドライン作成の参考とさせていただきました。

今後、関係性マップや活動ガイドラインを基に、生物多様性への取り組みを展開していきます。

活動ガイドライン

事業活動を通じて生物多様性に貢献する企業を目指します
製品のライフサイクルでの影響把握、軽減に努めます
生物多様性に親しみをもち、知識をつけ、保全に努めます

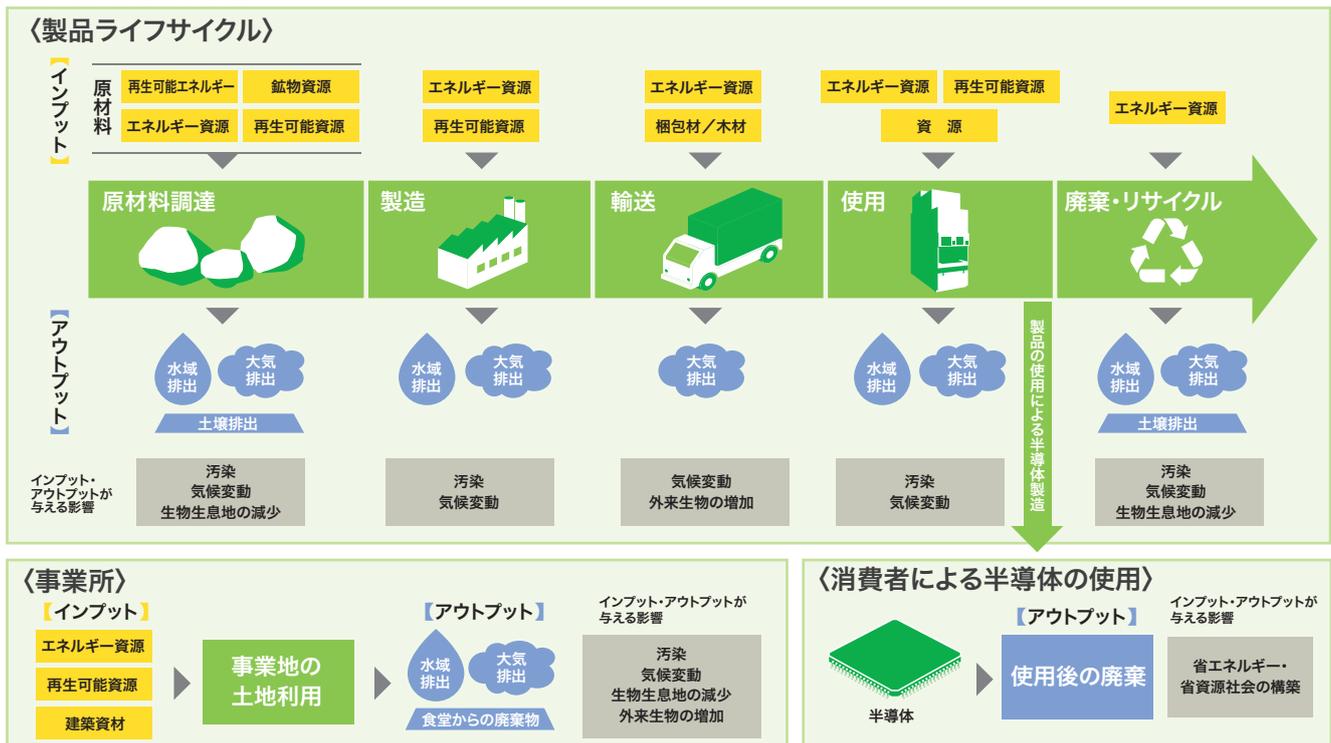


勉強会の様子



生態系観察会

■ 生物多様性の関係性マップ※



※企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)の「企業と生物多様性の関係性マップ®」を参考に作成。

再生可能エネルギー：水力・太陽光発電 エネルギー資源：原油、天然ガス 再生可能資源：水 資源：石英など